

県政だより 新時代

おおいた

2015
shinjidai Oita
100号
記念

5・6月号

特集 地方創生への道筋！
第4期広瀬県政がスタート



地方創生への道筋！ 第4期広瀬県政がスタート

Column -Fumon-

風紋

重ねて、
よろしくお願いします

知事 広瀬勝貞

このたび、県民の皆様から信任をいただいて、重ねて県政を担当させていただくことになりました。どうぞよろしく願います。

県政の主役は何と言っても県民です。県政の推進に当たっても、その県民の気持ち、要望をしっかりと頂いていくことが大切です。県政ふれあいトークなどでこちらからも皆さんの所に伺ってお話を聞かせていただきます。そして皆さんとともに知恵を出し汗をかくて安心・活力・発展の大分県をつくっていきます。これからも「県民中心」の県政です。

そして、まずは県民だれもが景気回復を実感できるようにすることです。そのための好条件も揃ってきました。東九州自動車道が2年前倒して県内全線開通、県立美術館OPAMの開館、さらには夏のJ・Rデスティネー

ションキャンペーンと、イベントが目白押しです。各市町村でプレミアム商品券を発行して消費喚起に拍車をかけます。

もう少し長い目で見れば、「大分県版地方創生」に取り組み、人口減少に歯止めをかけ、地方が元氣を取り戻すようにしなければなりません。私は選挙期間中、大分県版の地方創生に取り組みことを約束しました。

一つは、人を大事にして人を育てることです。高齢者に元気で長生きしていただく健康づくり、障がい者の就労・自立支援、それに「子育て満足度日本一」を目指す取り組みです。さらに、学校、家庭、地域が連携して教育の充実を図ります。

二つは、仕事をつくり、仕事を呼び込むことです。農林水産業の構造改革や中小企業・小規模企業の振興、商業・サービス産業では、「おんせん県おおいた」など観光・ツーリズムの展開で盛り立てます。もとより、企業誘致には引き続き力を入れます。

三つは、地域を守り、地域を活性化することです。県立美術館の開館やラグビーワールドカップ2019の大分開催など、芸術文化やスポーツイベントも活かして地域の活性化を図ります。このたび県内くまな

く回りましたが、空き家や廃屋の多いのにあらためて驚きました。そんな地域では皆さんが力を合わせて守ってきた集落の機能を守り切れなくなっています。それでも住み慣れた地域に住み続けたいという住民の思いに沿えるよう、新たに集落の機能を広域で補い合う「ネットワーク・コミュニティ」の取り組みを進めます。

地方創生は、人を招き、仕事を呼ぶ地域間競争でもありません。大分県として後れをとらないように取り組まなければなりません。

丁度今年度は、地方創生と方向性を同じくする「安心・活力・発展プラン2005」の目標年度であり、その仕上げと同時に、次期長期総合計画を練り上げる時でもあります。従ってその作業の中で地方創生の考え方も取り込んでいきたいと思っています。

複雑で動きの激しい時代です。こんな時こそアンテナを高く掲げ、いろいろの動向に敏感に対応する必要があります。私もお陰様で4期目、回を重ねて来ましたが、むしろ初心に帰って、謙虚に皆様の話に耳を傾け、柔軟に事に当たらなければならぬと自ら戒めているところで

県庁ホームページ「ようこそ知事室へ」 <http://www.pref.oita.jp/site/chiji/>

4月12日に行われた県知事選挙において、広瀬勝貞知事が再選されました。4月16日、初登庁した知事は「県民の声を聴き、県民のためにどうすればいいかをしっかりと考えながらやっていく姿勢をこれからも続けていく。地方創生を大分県が牽引するという意気込みを持って取り組んでいきたい」と出迎え

た職員らに決意を語りました。
その後、県庁正庁ホールで幹部職員を前に訓示。「目指すべき方向は、安心・活力・発展の大分づくり。人を大事にし、人を育て、仕事をつくり呼び込んでくる好循環の中で地域を元気にしていってほしい」と述べました。
また、4月20日の記者会見では、

今年度の県政推進指針、補正予算（肉付予算）編成方針、組織改正、人員配置の概要などを発表。安心・活力・発展の大分県づくりのステップアップを進めるため、これまでの実績の上に新たな政策を積み重ね、大分県版の地方創生に取り組むことが示されました。



地方創生に 取り組む背景

夢と希望あふれる大分県へ

人口減少に歯止めを

国立社会保障・人口問題研究所が平成25年に公表した推計によると、日本の総人口は減少を続け、2048年には1億人を切り、今世紀末には5千万人を下回るとされています。本県においても、現在の人口117万人が2040年には95万5千人にまで減少するとされています。他方、今年1月に県が示した将来の人口試算では、現段階から、自然増や社会増につながる政策に取り組むことで、人口減少に歯止めがかかれば、今後とも1

00万人近い人口を維持できるとしています。（グラフ参照）

このような中、国においては「まち・ひと・しごと創生」の長期ビジョンと総合戦略が閣議決定され、地方創生に向けた財政措置を講じるなど、本格的に動き始めました。

大分県では、市町村と一体となつて大分の地方創生を推進していくため、1月に「大分県まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ議論を進めています。

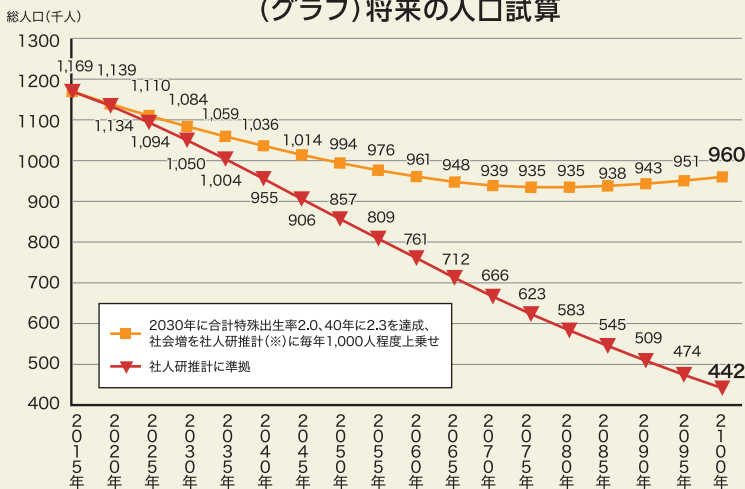
そこで得られた市町村からの意見を踏まえ、早速、骨太で効果的な事業を先行的に実施するため、平成26年度3月補正予算において「U・I・ターン促進」「仕事づくり」「子育て支援」の3分野を重点に予算を編成しました。

心配される 人口減少の影響

- 産業の担い手不足
- 生産・需要の減少などによる地域経済の縮小
- 農林水産業の衰退
- 小中学校の統廃合
- 小規模集落の増加と集落機能の低下
- 空き家の増加

など

（グラフ）将来の人口試算



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

地方創生

人を大事にし、人を育てる

- 01 「子育て満足度日本一」の実現
- 02 高齢者の元気づくりと地域包括ケアシステムの構築
- 03 障がい者の自立支援と就労促進
- 04 健康寿命の延伸
- 05 女性の活躍促進
- 06 学校・家庭・地域が連携した教育の充実

仕事をつくり、仕事を呼ぶ

- 01 農林水産業の構造改革と農商工連携の推進
- 02 生産から販売まできめ細かな支援による中小企業の振興
- 03 商業・サービス産業の振興と観光・ツーリズムの展開
- 04 創業・起業の支援
- 05 企業誘致と産業集積のさらなる深化
- 06 新エネルギー産業の育成や東九州メディカルバレー構想などの新産業の展開

始まります！

おおいた子育てほっとクーポン

県と市町村では、地域の子育て支援サービスを知って、気軽に利用していただくことを目的に、子育て支援サービスに使えるクーポンを配布します。

対象者

- ①平成27年5月1日時点で県内に在住する未就学のお子さん(平成21年4月2日から平成27年3月31日までに生まれたお子さん)のいる家庭
- ②平成27年4月1日以降に出生したお子さんのいる家庭

クーポンの金額

10,000円(500円券×20枚)

利用対象サービス

一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業、フッ素塗布、インフルエンザ予防接種など。

申請の方法や時期、利用できる子育て支援サービス、利用の仕方はお住まいの市町村によって異なります。6月から9月にかけてクーポンの申請が始まります(対象世帯へは各市町村から郵送や窓口で案内予定)。詳しくはお住まいの市町村の子育て支援担当窓口まで。

問 こども子育て支援課
☎097-506-2712

子育てのタネ

検索



始まります！

おおいたスタートアップセンター

創業希望者のワンストップ相談窓口として、また创业者の伴走支援やベンチャー予備軍への集中支援を行う「おおいたスタートアップセンター」を6月に開設します(場所：大分市東春日町 大分第二ソフィアプラザビル5階)。

概要

オフィスとして利用できる個室3とブース10、セミナールーム、共有スペースがあります(Wifi完備)。ご利用には会員登録が必要です。

その他、創業セミナーなどを開催します。

(補助制度) 起業家成長促進補助金

創業間もなく、資金的に余裕のない有望案件の成長をサポートするため、起業家を対象に、製品の試作・改良、販路開拓費など助成

補助額

補助率2 / 3、上限200万円

募集

平成27年6月頃開始

問 経営金融支援室
☎097-506-3223

大分県 創業支援

検索

始まります！

力強いコミュニティ形成の 取り組み

今後、各地域において、個々の集落単位では、バス路線が、買い物の場が、学校が、診療所がなくなるなど、その機能の一部が欠けてくる懸念があります。そのため、集落同士をネットワークで結び、集落の内外で人が行き交い、助け合い、個々の機能を分担・補完し合うことにより、全体が一つのコミュニティとなって、暮らしの維持につながるようする「ネットワーク・コミュニティ」の取り組みを進めます。

ネットワーク・コミュニティの構築（イメージ）



- ◎空き家バンクの充実により移住を促進
- ◎廃校を活用した地域住民の賑わいの場づくり
- ◎UIJターンの推進や地域おこし協力隊制度を活用した地域の活性化
- ◎集落支援員による生活環境の維持や改善
- ◎地域の祭りの保存・継承を積極的に支援 など

☎ 地域活力応援室 ☎ 097-506-2121

地域に還元！
ご利用ください、お得で便利な
「プレミアム付き商品券」



県内の消費喚起と地域内の経済循環を創出するため、商工会議所や商工会が行うプレミアム付き商品券（※）事業に対し助成します。県内全市町村で実施しますが、実施時期は市町村ごとに異なりますので各市町村及び商工会議所・商工会にご確認ください。

プレミアム率20% 発行総額100億円

（※例えば1万円で1万2千円分の買い物ができるなど、付加価値のついた商品券）

☎ 商工労働企画課 ☎ 097-506-3218

地域を守り、地域を活性化する

01 小規模集落対策や
「ネットワーク・コミュニティ」の
取組推進

02 観光や芸術文化、
スポーツイベントなどによる
地域の活性化

03 豊かな自然環境や水環境の
未来への継承

04 南海トラフ巨大地震や
豪雨災害への備え

基盤を整え、発展を支える

01 中九州横断道路や
中津日田道路など
広域交通網の整備加速

02 九州の東の玄関口としての
拠点づくりの推進

03 都市部の渋滞対策の推進

04 東九州新幹線の整備促進



移住相談にワンストップで対応！

大分県への移住を希望する方にきめ細かな支援を行うため、NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京都台東区）内に「おおいた暮らし相談窓口」を4月1日開設しました。ここでは、大分県専任の移住コンシェルジュ伊藤彩子さん（大分市出身）が、移住希望者の住まいや仕事探しなどさまざまな相談に対応します。

また、県地域活力応援室では、新たに移住サポーター3名を追加して、皆さまのご相談に応じるほか、

移住相談会を、東京、大阪、福岡で開催しています。ぜひご参加ください。

また、仕事情報を一元化した「おおいた産業人財センター（大分市中央町）」において、定住希望者への情報提供や企業とのマッチングを支援します。

その他、県外からの移住に必要な住宅の新築、購入、空き家改修などに必要な費用を助成します。詳しくは移住先の市町村にお問い合わせください。



おおいた暮らし相談窓口
移住コンシェルジュ
伊藤彩子さん

問 地域活力応援室
☎097-506-2125

おおいた暮らし

検索

大分に移住を決めました！

表紙のご家族

東京から豊後高田市に移住してきた、嶋義信さんにお話を伺いました。

嶋 義信さん

夫婦・子ども2人
職業：CGディレクター

東京都杉並区

豊後高田市

（H26年12月移住）

生まれも育ちも東京なので「田舎暮らし」には以前から憧れていました。動物を飼ったり、畑で野菜や果樹を育てたりといった夢を叶えるには、地方に移住するしかないと思い、全国各地をめぐり移住先を探していました。そんな時、豊後高田市の空き家バンクのホームページで知った広い庭園のある古民家（空き家）を見学してひとめぼれ。「ここで暮らしたい」と即決しました。東京で会社を経営していて、社員は東京に居ますが、職業柄、パソコンとインターネット環境があればどこに居ても仕事はできるので、東京との距離は感じません。東京にいた頃はイライラすることも多かったのですが、今は全くありません。対人ストレスゼロです。子育てにも最適な環境で、庭を走り回る子どもたちを見ていると、「移住をして本当によかった」と幸せを感じます。



こんな方々を増やしていきます。

大分の明るい未来に向けて ～3研究会が提案

平成26年度、県政の課題を検討するために県内外の有識者や地域づくりの実践者で構成する3つのテーマ別の研究会において、これからの大分県づくりについて活発な議論が行われました。まとめられた報告書については、今年度策定する次期「大分県長期総合計画」に反映させるとともに、一部の取り組みは今年度から事業化していきます。

人口減少社会を見据えた 特徴ある地域づくり研究会

論点 移住・定住を促進するために

はどのような取り組みが必要か

●住宅・雇用・教育など様々な面で一体的に若者を支援

●地域資源(温泉や竹芸など)を活用した、県外からの若者の起業支援

●ネガティブと捉えられがちな資源(廃校、空き庁舎等)から、新たな価値を創出する起業家の誘致・育成

論点 人口減少の中で集落の活力を

どう維持していくのか

●公民館を地域の事業を興し人材を育成する拠点として活用

●地域のお祭り、伝統文化を大切に
する仕組みづくり

論点 人口減少に伴う新たな課題に

対応するには

●集落支援員や地域おこし協力隊の一層の活用、道の駅に新たに福祉機能を付加するなどの集落機能を広域的に補完する「ネットワーク・コミュニティ」を構築

芸術文化ゾーンを活用した 新たな展開研究会

論点 芸術文化の持つ創造性を活用

した教育、産業、福祉、医療、地域づくりなどの行政課題に対応するための取り組みとは何か

●地域資源に新たな視点から創意工夫を加える地域の創造的取り組みを支援(×(カケル)アート)

●創造的産業や創造的人材の誘致

●障がい者アート作品のビジネス化やユニバーサルデザインの推進など、福祉とアートとものづくり産業の新たな連携を支援

●参加体験型ワークショップを重視した教育普及

論点 創造の場(新しい動きが出て

くる場)をどうやってつくり、芸術文化ゾーンと地域の連携をどのように進めていくか

●各分野の行政課題への対応を支える基盤となる創造の場やネットワークづくり

●アトNPOの育成支援などを行うプラットフォーム組織づくり

東九州自動車道の開通後の 新たな展開研究会

論点 人の流れ・物の流れの拠点と

なるためにどのような機能・取り組みが必要か

●高速バス、中長距離内航フェリーなどの路線数・便数の充実など、広域公共交通ネットワークの充実・強化

●老朽化したフェリーターミナル・設備(トイレ・看板等)の改修

●海上物流拠点となる港湾の整備

●高度な物流拠点整備促進

論点 九州の東の玄関口としての拠点化に向けて取り組むべき国レベル

の構想・計画等は何か

●中九州横断道路、中津日田道路の整備促進、東九州自動車道の4車線化促進

●東九州新幹線の整備に向けた機運醸成と費用対効果の検証



県政だより 新時代おおいた

100号
記念

平成10年11月に創刊された「新時代おおいた」。
県の広報紙として17年間、県政を映し出し、
この度、記念すべき第100号を迎えることができました。
県民の皆さんとともに歩んできた当時の記憶を振り返ります。



新時代おおいたのバックナンバーを
県のホームページでご覧いただけます。
思い出のあの号を振り返ってみませんか。

新時代おおいた

検索

問 広報広聴課 ☎097-506-2094

皆さんは何を期待？ 県広報紙「新時代おおいた」



広 瀬知事初就任後に掲載された第1回の「風紋」を読み、文章の優しさや内容の幅の広さに感銘し、それ以降愛読しています。特集などはややもすると、大分市や別府市に話題が集中しがちですが、大分県には地域に行けば行くほど良い題材がたくさんあるので、地域の問題をもっと掘り起こしてほしいと思います。そして、多くの県民を紙面で紹介することで、親近感が湧き、共感を呼ぶ記事になるのではないのでしょうか。県民の目線で考え、先手を打った積極的な企画を出し、今後も発行が続くことを期待しています。

永松秀敏さん
(大分市)



今 後の大分県についての課題や取り組みんでいく方向を一緒に考えていきませんか？という問いかけのようなものが紙面に見えてきました。普段の生活では出会えない、様々な取り組みをしている人や団体の紹介もされており、それぞれに関わりがある人はいいい刺激になるのではないのでしょうか。特別なことを面白く取り上げるより、日々の継続が紙面に現れるとストーリーが重なって興味を持つ人も増えるんじゃないかと思います。

桑島孝彦さん
(竹田市)



新 聞とは違い、内容の賞味期限が長いので会話のタネの「引き出し」としてありがたい存在です。過去のものも捨てずに保管しています。特に「とよの国の食彩」はとても楽しいコーナーで、4人の子どもを持つ母として実際に家庭で作ってみることで、子どもたちへの食育、郷土愛の育成にも繋がっています。県の打ち出した方針や施策が各自治体でどう反映されているか、自治体同士横並びで比較した特集があるとありがたいです。

河津奈津子さん
(日田市)



ま ず表紙のインパクトがないと思います。気を引くキャッチコピー等、中身に繋がる、読みたくなる表紙が必要ではないのでしょうか。また、紙面はただ活字が並んでいるだけでは読む気になれません。空間効果を利用するとか内容別に囲みや挿絵があると若い方でも読んでみようかと思うのではないのでしょうか。いつでも県と触れ合えるような楽しい事業を多く取り上げていただき、広報紙に自分たちも参加しているという喜びを持って読みたいものです。

臼田キヨミさん
(中津市)



感 動発信紙として、社会の不安を払拭する存在に本紙がなることで、ワクワクする活動を見て、県民の皆さまが論議し、最後に理解していただくようになれば、活力の循環と発展の礎になると思います。旗振り役がいかにワクワクを大きく魅力的であるものにできるかが重要であると思います。見える化が最近流行っておりますが、見ただけでは掲示板ですので、見た人がその場で改善したくなるような記事を期待しています。

吉丸栄市さん
(国東市)



第 92号「心ひらいて」の「鏡のむこう側」には心を打たれました。年齢に関係なく、人と接するのには大事なことで、子育て、孫育て、そして夫育てにも通じる言葉でした。また、特集記事で農業に関する事が取り上げられていると自分の地区のことを振り返り「なるほど」「どこも同じやない」と、うなずきながら読んでいます。写真が鮮明なのも魅力的ですね。これからも親しまれる紙面、内容を期待しています。

嶋田富美江さん
(佐伯市)



市町村の催し

本匠ほたる祭り

開催日時／6月6日(土)

午後4時～午後10時

場所／佐伯市本匠体育館

問▶実行委員会事務局

☎0972-56-5111

田染荘御田植祭

開催日／6月14日(日)

場所／豊後高田市田染小崎

問▶荘園の里推進委員会事務局

☎0978-26-2168

宇佐市みなと祭り

開催日／7月18日(土)、19日(日)

場所／長洲漁港周辺

問▶宇佐商工会議所

☎0978-33-3433



「自転車運転者講習制度」が始まります！

道路交通法の改正(H27.6.1施行)により、悪質な違反を繰り返す危険な自転車運転者に対して「自転車運転者講習制度」の受講が義務づけられました。講習の対象となる危険行為は、酒酔い運転、信号無視、一時不停止、ブレーキ不良自転車運転など、14項目あります。自転車を運転される皆さん、交通ルールを守りましょう。

講習制度の流れ

危険行為を反復

3年以内に2回以上、
該当項目の違反で検挙
された違反者が対象に
なります。

受講命令

交通の危険を防止するため、都道府県公安委員会
が自転車運転者に講習を
受けるように命令。
※講習手数料がかかります

講習の受講

受講命令に違反した場
合は**5万円以下の罰金**
が科せられます。



大分県警察 自転車運転者講習

検索

問▶警察本部 交通企画課 ☎097-536-2131(代表)



おおいた ゆかりの図書

ともがき
くるしま童話名作選 1

久留島武彦／作 古内ヨシ／絵
幻冬舎ルネッサンス
2011年 1,300円



口演童話作家、久留島武彦(くるしまたけひこ)は、素晴らしいお話を60年間日本で語り続け、日本のアンデルセンと呼ばれています。出身地の玖珠町では童話祭が毎年5月に開催され、近年は『童話名作選』が企画されています。1作目『ともがき』は、昭和10年に照宮成子内親王(てるのみやしげこないしんのう)の御前で語ったお話を、現代の子どもたちが親しめるように絵本として編集し直したものです。ひとりぼっちだったからすが、森のみんなとたすけあい、なかのよいともがき(ともだち)になる友情のお話です。

子どもの幸せ



大分県人権啓発
イメージキャラクター
こころちゃん

ニコニコしている子どもを見ると、なんだか幸せな気持ちになります。子どもたちには、安心して楽しく毎日を過ごして欲しいですね。そのために、大人がしなければならないことは何でしょう？ まずは、国連の「子どもの権利条約」に影響を及ぼしたポーランドの小児科医で孤児院長だったコルチャックの考えを紹介します。

「子どもを一人の人間として尊重しなさい。子どもはあなたの所有物ではない」——子どもを自分の思い通りにさせようとしなさい。子どもの気持ちに耳を傾けましょう。

「子どもは宝くじではない。一人ひとりが彼自身であればいい」——あの子に負けるな、なんて人と比べない。その子のままの成長を楽しみましょう。

「子どもは過ちを犯す。それは、大人より愚か

なのではなく、人間だからだ。完全な子どもなどいない」——大人だって失敗するし、間違えるのだから、子どもの失敗や間違いを責めない。経験が少ない分、失敗して、間違えて学んでいるんだと考えましょう。

そして、心理学者のアドラーは、幸せの条件として①自分を好きなこと②他人を信じられること③他人の役に立つこと、の3つをあげています。子どもに「自分自身でいいんだ」と感じさせましょう。信頼してもらえるように子どもと接しましょう。子どもに「ありがとう」「うれしい」と感謝の言葉をかけましょう。

この世界に共に生きるかけがえのない子どもたちの夢や意見を尊重し、それが叶うよう勇気づけましょう。そうすれば、きっと、今よりもっと子どもたちの笑顔が見られるはず。



案内

東京への出張や旅行での
大分空港利用がより便利に！

●羽田発大分着最終便がより使いやすく！

最終便が19:55羽田発21:30大分着となり、羽田空港の
出発時間が40分繰り下がりました。東京でのビジネス・観光に
ゆとりが生まれます！

●東京（羽田）発最終便利用者限定

ワンコインエアライナーキャンペーン実施中

最終便の降機時に、ご希望の方へ大分空港コンコースにて、
割引券をお渡しします（当日限り有効）。割引券をご利用いた
くと、500円のお支払いで別府・大分行きのエアライナーにご
乗車いただけます。

対象期間／6月30日（火）まで

対象路線・対象便／東京（羽田）→大分

日本航空JAL671便にご搭乗の方

問▶交通政策課

☎097-506-2155

空旅おいたクラブ

検索



緑のカーテンづくりを始めませんか
「フォトコンテスト」写真募集中！

身近な地球温暖化対策として、家庭、
職場、学校などで緑のカーテンづくりに
挑戦しませんか。強い日差しを遮り、冷
房効果を高めてくれる緑のカーテンの
作り方は、県庁ホームページで紹介して
います。また、成長した様子を、写真撮影
して県が主催するフォトコンテストにご
応募ください。入賞者には、商品券など
の副賞を進呈します。応募要項など詳
しくは、県庁ホームページをご覧になる
か、下記までお問い合わせください。

緑のカーテン 大分県

検索



問▶地球環境対策課

☎097-506-3024

県民防災アクションデー
（県下一斉避難行動訓練）

6月1日（月）午前9時30分から、風
水害により市町村が避難勧告や避難
指示を発令した場合の防災サイレンを
県下一斉に鳴らします。

このサイレンを聞いたら、避難場所、
非常持ち出し品の確認や周りにいる人
への声かけ（例：〇〇へ逃げろ）などそ
の場でできる避難のための行動をとっ
てください。いざという時に備え、皆さん

のご理解とご協力をお願いします。

詳しくは、お住まいの市町村防災担
当課または下記まで。

県下一斉避難行動訓練 大分県

検索



問▶防災危機管理課

☎097-506-3067

住まいの安全・安心な改修を
考えてみませんか？

県と市町村は、高齢者の暮らしの安
全確保や子育て世帯の住環境の向上
を図るため、住宅改修工事に係る費用
の補助を行う「高齢者・子育て世帯リ
フォーム支援事業」を実施しています。

65歳以上の高齢者がいる世帯や
18歳未満のお子さんがある世帯の改
修工事が対象となります。

詳しくは、お住まいの市町村のリ
フォーム相談窓口または下記まで。

高齢者・子育て リフォーム 大分県

検索



問▶建築住宅課

☎097-506-4677

自動車税の納税は、
お済みですか

6月1日（月）は自動車税の納期限で

す。お近くの金融機関や郵便局、県税
事務所の窓口またはコンビニエンスス
トアでも納付できます。自動車税の納
税通知書がまだ届いていない方は、お
近くの県税事務所までご連絡ください。

自動車 納税通知書 大分県

検索



問▶

別府県税事務所

☎0977-67-8211（代表）

大分県税事務所

☎097-506-5771（代表）

大分県税事務所 自動車税管理室

☎097-552-1122

佐伯県税事務所

☎0972-22-3021（代表）

豊後大野県税事務所

☎0974-22-7501（代表）

日田県税事務所

☎0973-22-4175（代表）

中津県税事務所

☎0979-22-2920（代表）

催し

豊の国ねりんピック「美術展」及び
「シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展」

県内在住の60歳以上の方が創作し
た日本画、洋画、彫刻・彫塑、工芸、書、
写真、短歌、俳句、川柳を展示します。

開催期間／6月3日（水）～7日（日）

場所／アートプラザ（大分市）

入場料／無料

問▶高齢者福祉課

☎097-506-2688

保育のしごと就職フェア

県内の認可保育所や認定こども園
が集まって、各施設の紹介や個別の就
職相談会を行います。

開催日時／6月28日（日）

午後1時30分～午後3時30分

場所／大分県社会福祉介護

研修センター（大分市）

参加費／無料

問▶大分県保育士・保健所支援センター

☎097-551-5513



まぐろ山椒鍋【津久見市】

遠洋漁業の歴史を有し、津久見市の食文化の一つである“まぐろ”と、同市の新たな特産品づくりに向けて栽培の拡大に取り組んでいる“山椒”。

今回は、その2つの食材を活かして「津久見まぐろ研究会」が商品試作を繰り返して生まれた鍋のレシピを同研究会の田中宏明さんに教えていただきました。

ぎゅっと詰まったまぐろの旨みとピリッと効いた山椒の辛さを楽しめる大人向けの一品です。ご家庭でもぜひご賞味ください。



材 料 (2人前)

A だし

水…800cc、昆布…5cm、鷹の爪…1本、にんにく…1片
濃い口しょうゆ…大さじ1、酒…大さじ1、塩…小さじ1
みりん…大さじ1、生山椒のみじん切り…10粒

B 具材

まぐろ(ネギトロ)…200g、塩…少々、薄口しょうゆ…少々
生山椒のみじん切り…10粒、お好みの野菜

調理方法

- 1 ネギトロに塩、薄口しょうゆ、生山椒のみじん切りを加え、よく練る。
- 2 鍋にAの材料をいれ、火にかける。だしが沸騰したら、お好みの野菜とBを浮かべ、火が通れば出来上がり。

取材協力：津久見まぐろ研究会
(津久見商工会議所)

☎ 0972-82-5111

まぐろ山椒鍋

検索

※「津久見まぐろ研究会」所属の飲食店5店舗で提供しています(要予約制)。詳しくは、左記までお問い合わせください。

5月・6月号 クイズ&プレゼント

本紙を参考に○の中に当てはまる文字を入れ、ハガキがインターネットでご応募ください。正解者の中から抽選で5名様に津久見市の特産品詰め合わせ(2,000円分)をプレゼントします。

問題

A 地方○○への道筋!

B 新時代おおいた○○○号記念

【締め切り】
6月30日(火)

当日消印有効

当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。3月・4月号のクイズの答えは、A OPAM、B フツ化物でした。たくさんのご応募をありがとうございました。

応募ページのアドレス

<http://www.pref.oita.jp/site/sinzidai/>

〒870-8501

大分県庁
広報広聴課
5月・6月号
クイズ係 行

- ①クイズ A、Bの答え
- ②郵便番号、住所
- ③氏名 ④年齢
- ⑤職業
- ⑥電話番号
- ⑦興味を持った内容・感想
- ⑧広報紙に関するご意見

県政番組ガイド

▼インターネット

動画配信サイト「めじろん放送局」(<http://www.mejiron.tv/>)
県政番組のバックナンバーや県内の魅力満載動画を配信中



スマートフォンからも
ご覧いただけます♪



▼テレビ

TOS「ほっとはーとOITA」 土曜日/午前11:30~11:45
OAB「お!」 日曜日/午後 5:55~ 5:59
OBS「おおいた捕物帳」 月曜日/午後 6:55~ 6:59

▼ラジオ

OBS「くらしのたより」(2分10秒)月~金曜日/午前9:10~
土曜日/午前6:57~、日曜日/午前6:55~
OBS「たんねるけん!」【新番組】
毎月第1・第3土曜日/午前10:40~54(14分間)
翌日曜日/午前5:30~44(再放送)

エフエム大分
「WHAT's NEW OITA」(ホワッツニューオーイタ 4分間)
月~金曜日/午前9:00~、土曜日/午前9:25~
日曜日/午前8:55~

大分県庁

☎097-536-1111(代表)

<http://www.pref.oita.jp/>